



今年も、プール!

児童デイ夏の定番といえば、プールです。昨年までは文京の広場のすぐそばに市民プールがあり、利用させて頂いていたのですが、残念ながら赤見の周辺には子ども達が歩いて行ける範囲に市民プールがありません。そこで「大きなビニールプール」を購入することにしました。

どれくらい大きいかというと・・・



このぐらいです!

市民プールに比べれば物足りないですが、大人も余裕で入れる大きさなので、体格の大きい中高生の子達も「泳いで」遊べるかと思えます。

また、自前のプールなので、天候や時間、営業日を気にすることなく使えるのが良い点です。(7月上旬から稼働予定) このプールで、今年の夏も子ども達に楽しく遊んでもらえたらと思います。

生活援助について (その1)

▼生活援助のルール

ホームヘルパーが行うのは、入浴・排泄・移動など利用者の体に触れる「身体介護」、買い物・調理・掃除など利用者のできないことを代行する「生活援助(家事援助)」に大別できます。

(要支援では身体介護と生活援助の区別はない)

最大のルールは本人への日常生活上のお世話しかできないということ。掃除なら、利用者の居室はできますが、みんなで使う玄関や廊下はできません。介護保険を使っているので、決められたことしかできません。そこが、家政婦とホームヘルパーの大きな違いです。

▼利用できる生活援助とは

次に生活援助に関するルールがあります。生活援助は①一人暮らしの場合、②同居家族に病気や障害がある場合、③その他必要がある場合、利用できることになっています。厚生労働省は、利用者の状況に応じた柔軟な対応を促していますが、同居人がいれば画一的に「生活援助は利用できません」と言うケアマネジャーは少なくありません。

生活援助を「できる」「できない」で判断せず、ケアマネジメントにより個別に判断することが基本です。

何のために家事(掃除)をするのかが、作業目的(整理・清潔)以外に必要な、人への働きかけの一環としての生活援助の位置づけが求められます。



日本語おもしろい

坪内忠太著 新講社 より



◇なぜ、スイカ(西瓜)は西でカボチャ(南瓜)は南か?

スイカが日本に来たのは室町時代、織田信長に南蛮人が献上したのが最初といわれる。もともとは水瓜だったが、西洋から伝わったということから、他の瓜と区別するため後に西瓜の字が当てられた。カボチャは戦国時代に九州に漂着したポルトガル人が種を持ってきた。その船はカンボジアから来たので、カボチャとなった。スイカに形が似ており、また、南蛮国からやって来たというので南瓜の字が当てられた。

心っれづれ



☆娘たちのパワー☆

6月より、私はまごころ児童デイへ異動勤務となった。突然の話に驚いたが、私の他にも異動があり、必然の事態だと理解をしている。それに伴って、勤務時間が変更となり、19時までの勤務となった。

心配なのは、小2と小3の娘、それに持病があり、去年は3カ月入院をしていた夫のことだった。

夫は今年12月に解雇となり、その時点で子供達も放課後預かりを辞めている。現在夫はパートに出ているが、6月半ばより残業がとて増え、私より帰宅が遅くなることもざらだ。毎日、勤務が終わると家に電話をするが、寂しそうな声で「パパからまだ連絡がないの」というセリフを聞くと、ビューンとワープして帰りたくなる。片道5キロの道がとてつもなく長く感じる。

この毎日の電話の声で、今日の留守番は楽しく過ごせたか、そうでないかの心模様がすぐに分かる。しかし最近では、「パパもママも遅いから、味噌汁作っておいたよ」ということがあって、随分驚いた。一緒に料理をすることはあっても、コンロの点火を怖がるので、子供達だけで料理なんて思ったが、家に着くと本当に味噌汁が出来ていた。しかも、とてもおいしかったのだ。親がいるとついつい危なくて手をだしてしまうのだが、いないことで勇気をふりしぼり、2人で力を合わせていた。子ども達のたくましい成長に、感動だった。

私も、娘達に負けないように、仕事も家庭も大切にできるたくましい母親になりたいな・・・とつくづく思う今日この頃だ。

協力会員 森美和子



ミニデイだよ!



七夕にむけて

今年も、一宮七夕まつりの市民七夕飾り付けコンクールに参加いたします。今年作品は、画用紙を組み合わせて幾何学的な球体を作ろうと取り組んでおります。

たくさんの細かいパーツをハサミで切らなくてはならず、”皆さん大変じゃないかしら・・・?”と心配しておりましたが、スタッフが「もう休憩してください」とお願いする程、とても集中して作っていただきました。

目標があると一所懸命になれることを感じます。さて、7月末一宮駅にはどんな作品が彩られるでしょうか?

ぜひ皆さん見にいってください!

一宮市市制 90 周年記念事業

満 90 歳以上の方の

元気はつらつ写真募集~

7月広報に掲載の90歳を超えてもまだまだお元気な方の写真コンクールに、ミニデイの利用者さんのお二人が応募いたします。

福田さんは年賀状コンクールにも入賞した経験もあり、何事にも頑張り屋さんです。

長崎さんは半年前までは現役のボランティアで活躍されていました。



福田さん(94歳)



長崎さん(91歳)